



発行 東京片貝会  
埼玉県新座市栄1-5-5  
(〒352-0014) 阿部修次  
電話 0484-78-4494

### 第39回 東京片貝会総会御案内

期日 平成10年6月28日(日) 午後一時  
会場 東京新潟県人会館

皆様にはお健やかにご活躍のこととお喜び申し上げます。  
東京片貝会は本年で39年を迎えることができました。皆様の変わらぬご支援の賜と感謝しております。来年は記念すべき40周年を迎えます。40周年の魁といたしまして、気運が盛り上がりますますお友達を誘いあつて、どうぞ多数ご参加下さいますよう、ご案内申しあげます。  
故郷の方々にもご案内してあります。

#### 記

- 一、日時 平成10年6月28日(日) 午後一時(正午より受付)
  - 一、会場 東京新潟県人会館(台東区上野1丁目13-16)  
営団地下鉄「湯島」二分 (千代田線)  
「上野広小路」六分(銀座線)  
「御徒町」七分
  - JR
  - 一、会費 男性 六〇〇〇円 女性 五〇〇〇円
- お願い 返信は6月20日までに届くようお願い致します。

#### 会費納入のお願い

東京片貝会は皆様の会費(二千円)で運営されています。会報と同封されます振込の用紙又は総会会場で納入を宜しくお願い致します。

### 予告 創立四十周年記念総会

平成十一年七月十二日(日)

上野精養軒で

年代を越えて片貝の意気を上野の森に響かせたいと思います。

皆様多数のご参集をお願い致します。

役員一同

### 会の動き

常任理事会 12

於：池袋カンボ会館 10名  
一、中学五十周年報告と事後の件

一、会報の確認

一、新年会の件  
一、新名簿の進行と広告の件

一、じよんのび会の件  
勝又前会長葬儀出席 14  
役員五名と昭六会員数名

名簿見本製作 18  
於：神田

新年祝賀会 25  
於：県人会館 63名  
二面参照ください。

四十周年会場について 25  
於：上野精養軒

常任理事会 3/7  
於：池袋カンボ会館 13名

一、新年会の報告

一、じよんのび会 (青嶽荘に決定)

一、中学五十周年決算報告

一、新名簿(五百冊とする)

一、四十周年 (会場上野精養軒に決定)

じよんのび会 4/12・13  
奥湯河原「青嶽荘」 16名  
三面参照下さい。

お願い 同級会のお便りを  
お待ちしております。

### 40周年記念

#### 新名簿完成近し

東京片貝会創立40周年記念行事として、新名簿の作成を進めてきましたが、39回総会にご出席の方には、お配りできる運びとなりました。

公告につきましては、ご協力を頂きまして有り難うございました。

#### 東京片貝会俳壇

雪折れの 一枝も咲き 梅香る 相崎 勇次  
満天の 終ひの花火 乱れ打ち  
にこり酒 にこりてうまし 雪の夜 阿部 修次  
花枯れて 久しき庭や 雪の朝  
雪冷えの 一日の終り 爛熱く  
初雪の 光まぶしや 花万両 大塚 順  
送られし 餅のねばりや 里の味  
母縫いし 半纏ぬくし 冬の朝  
灯を消すや 書斎に残る 雪明り 新野 次朗  
雪道や 晴着の下の スニーカー  
(勝又会長の通夜で詠む)  
雪舞う夜 黄泉客となり 旅立ちぬ

#### 勝又前会長を偲んで

温厚誠実で暖かい心をお持ちでした勝又さんが一月十三日急逝されました。葬儀には役員五名で参列し生花を献じました。

勝又さんは東京片貝会長を退かれてからも東京江東税政連会長として御活躍されておりました。

私達もまだまだ御指導を願いたく思っておりますただけに大変残念でなりません。会を始め社会的にも誠に惜しい人を失ってしまった気持ちで一杯です。

慎んで生前の感謝と共に哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

阿部 修次

佐藤教授テレビ出演

本会の副会長である神奈川大学の佐藤祐一教授(若杉会58才)は、1月24日NHK総合テレビ「なるほど経済」に出演されて、「あなたの知らない電池の秘密」のテーマで話された。  
佐藤教授は片貝中卒業後、長岡高校、東北大学を卒業、東芝を経て現職。

# 新年懇談会 盛大に開催

平成10年1月25日  
新潟県人会館

本会の新年会は1月25日県人会館で開催された。当日は故郷を思い出すような残雪のある中、沢山の会員のご参加を頂き盛大に開催された。



開会の挨拶は黒崎正副会長により行われ、阿部修次会長の挨拶があった。

「昨年は片貝町を揚げての中学校の記念行事に参加することができ皆様のご協力を心から感謝します。また来年は本会の40周年を迎えます。新名簿を作成中ですが、東京地区の広告欄に余裕があるのでご協力をお願いします。」

その後、中学校創立当時の先生であり、かつ青年会の会長で活躍された黒崎敬五郎氏に思い出話を講演して頂いた。

その後、恒例となった鏡割りを「ヨイジャー」の掛け声も勇ましく行い、乾杯の音頭は相崎勇次さんにより行われ、祝宴となった。

カラオケ、踊りと会員の芸達者が次々に飛び入りで参加、会場は大いに盛り上がった。

最後全員で木遣りを歌い、万歳三唱は佐藤彦一さんの元気一杯の音頭で行われた。

閉会の挨拶は、佐藤祐一副会長により述べられ新年会の全ての行事が終了した。

## 当日の出席者

〔昭和21、30〕

相崎勇次、酒井ミヨ、山口ヨシ、五郎、浅田鉄二、山口三郎、芋川とし、黒崎敬五郎、黒崎孝造、佐藤彦一、芝三四司、小宮良夫

〔昭和11、20〕

黒崎音吉、佐藤ヨシ、小宮秀夫、太刀川善蔵、大矢常吉、阿部源一、山田松次郎、山田チエ、山口吉五郎、横見キミ、丹治きみ、松下利夫、佐藤道雄、吉原俊六、上田益美、中島ヨシ子、小宮幸雄、星、シズ、江澤キヨ、庄司とつ、西山和子、三重堀清

〔昭和21、30〕

安達和三、黒崎晴郎、吉原三代治、新野次郎、安達弘男、山岸慶昭、神林勝夫、阿部修次、山口俊男、清水敏雄、吉原栄一、忍足良子、山本文子、小宮トシエ、五十嵐キヨ、大塚順一、神林佳子、黒崎 正、豊島文枝、相崎達一、小野家茂、中村恵美子、石川春夫、佐藤祐一、浅田昇治、吉原武夫

〔昭和31〕

小宮善興、藤塚 悟、芝 満男

お礼

左記の会員の方々よりご祝儀 およびご寄付を頂きました。

(敬称略順不同)

重原文明、江澤キヨ、星 シズ、浅田ヨネ、佐藤正雄、相崎勇次、勝又 功、丸山広弥、酒井ミヨ、黒崎孝造

## 片貝中学創立50周年寄付収支報告書

第56号会報記載収支残高		248,620
11 21	記念誌配布願い	1,600
-	- 用袋	1,400
11 25	記念誌発送	18,900
11 26	記念祝賀式典御祝儀	30,050
-	- 出席者旅費(会長他5名)	60,000
12 2	つくし会 通信費	5,070
-	- 緑友会	8,295
12 4	若杉会	8,674
-	- 十三鶴会	5,655
12 9	講存会	5,910
12 12	十五賀会	9,360
12 15	つとむ会	2,955
12 17	伸友会	8,870
12 22	白樺会	2,540
2 16	陽光会	18,053
2 19	朗志会	10,975
3 31	立志親友会	12,920
差引残高		37,393

※この残高は役員会の手承を得て、東京片貝会の会計に繰入りました。

平成10年3月31日

東京片貝会会長 阿部 修次  
会計 新野 次朗

上記は適正であることを認めます。  
会計監査 吉原 三代治・佐藤 孝

## 東京片貝・会計報告

(自 平成9. 4. 1. 至 平成10. 3. 31.)

収入総額	2,526,686	支出総額	2,526,686
前年度繰越	635,991	総会費	421,047
内訳		新年会費	330,350
定額貯金	200,000	役員会費	62,905
郵便貯金	360,420	個人会費連費	32,000
郵便振替	41,145	浅原神社奉納	10,000
現金	34,426	趣意他祝い酒	11,640
年会費	618,000	慶弔費	27,250
総会々々費(65名)	367,000	交通費	26,525
新年会々々費(63名)	357,000	通信費	226,420
祝儀・寄付	186,000	会報印刷費(55号、56号)	229,860
預り金(広告料)	325,000	交通費	10,300
収入金(中学寄附金)	37,393	事務費	50,347
雑収入(郵便貯金)	302	小千谷新聞購読料	11,544
		振替手数料	15,690
		次年度繰越	1,060,808
		内訳	
		定額貯金	200,000
		郵便貯金	770,222
		郵便振替	24,955
		現金	65,631

上記の通り報告いたします。

平成10年3月31日

会計 新野 次朗・吉井 信三

上記は適正であることを認めます。  
会計監査 吉原 三代治・佐藤 孝

## ☆転居・表示変更

小宮 八重 (昭17)  
〒271-0001 松戸市幸田2-1  
第二市営住宅2-7-7 ☎0473-46-7895  
黒崎 勝、玲子 (昭28・32)  
〒252-1132 綾瀬市寺尾中3-9-24  
☎0467-76-3154  
本田 紘一郎 (昭30)  
〒134-0088 江戸川区西葛西2-4-15-117  
☎03-3680-6756

## 会員短信

新年会の御案内のお返事で出席できない方々から沢山の御便りを頂きました。

是非、次回の会の御出席をお待ちしています。一部を紹介いたします。(敬称略、順不同)

内藤八重子(昭和20)  
いつもありがとうございます。

## 野崎真知子(昭29)

片貝中学50周年記念誌を読み、現在、中学、高校の教職に身を置く者として、感慨ひとしおです。

良き教師、校風に恵まれていたことを感謝しています。

## 吉井 均(昭29)

片貝中50周年記念の寄付者名簿の件、わざわざお手紙を頂きありがとうございます。本田善一(昭26)はやいもので、今年満60才になります。

いつもお世話さまです。

## 溝手俊一(昭26)

いつもご案内を有難うございます。当日の盛會を祈っております。

## 山崎勝子(昭26)

いつも会報楽しみに読ませていただいています。

## 氣田登美(昭19)

役員の皆様のご苦勞に感謝し会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## 早見ヒサ(昭21)

会報ありがとうございます。今年もよろしくお願い致します。会の発展を心より祈ります。

## 新澤須美(昭21)

会報楽しみに拝見しています。当日よんどころない用がありますので欠席させていただきます。

# 母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございます

今年も沢山の方々から、ご支援を頂きました。ご協力ありがとうございました。今回の基金で、延千四百名を越えました。

今年の総会でも、16回目の図書が送られる予定です。昨年の秋、片貝小学校の生徒さんから、図書のお礼を頂いています。一部をご紹介します。

黒崎 雄太(六年)

東京片貝会のみなさまお元気ですか。今年は本をたくさん読んであげたいと思います。今回は、ずかんなどをおくっていただきますようにやくだつております。

いつも楽しく読ませていただいております。これからもこの本を大事に読ませていただきます。東京片貝会のみなさまもお元気で。

山賀 悠起子  
東京片貝会のみなさんお元気ですか。こんかいはたくさんためになるような本を送って下さいまして、ありがとうございます

大切によませてまいります。みんながよんでくれるようにくふうをしたりして、大切にします。たくさん本を本当にありがとうございます。

佐藤正雄

〔昭和2〕10

相崎勇次、酒井ミヨ、芋川とし、小宮良夫

〔昭和11〕20

黒崎音吉、大矢常吉、山田チエ、鶴見キミ、

岩片知恵子、松下利夫

〔昭和21〕30

安達和三、安達弘男、阿部修次、新野次朗、吉原栄、忍足良子、

山本文子、大塚順一、

神林佳子、黒崎正、小野家茂、中村恵美子、

佐藤祐一、吉原武夫

〔昭和31〕43

小宮善興、藤塚 悟、芝 満男、吉井信三、

内藤富美子

母校を励ます会・会計報告			
日 平成9.1.1 ~ 平成10.3.31			
収 入	103,000	支 出	500
基金(28名)	103,000	事務費(第4号)	500
繰り越し(昭和58.5.1~平成10.3.31)			
収 入	4,670,881	支 出	3,523,525
基金(延1,438名)	4,374,200	寄付金(154)	3,200,000
寄付	35,000	補助金(154)	170,000
利息	261,681	印刷費	45,000
		文庫費	82,684
		文庫費	30,000
		事務費	5,738
		雑費	103
		現在高	1,147,356
		内訳	
		定期貯金	780,000
		郵便貯金	367,356
平成10年3月31日			
上記の通り報告いたします			
会 長 新野 次朗 副 会 長 吉 原 三 郎			
記 事は通りであることを認めます			
会 計 監 査 吉 原 代 治 監 査 員			

## 第三回 じよんのびの旅

奥湯河原 青轡荘へ

4月12日 13日

紅顔色あせたが青春あふれる(?)男性13名と未だ乙女の恥じらいを秘めた(?)熟女3人日曜日の東京駅より始まった。

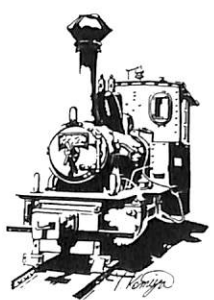


越後の名酒八海山(小宮氏持参)を飲む内に例によって片貝弁高らかに、三時過ぎ三年振りに懐かしい宿について。一息入れてお馴染みの大滝の野天風呂につかり錦鯉を見ながら散り行く花びらを眺めて、あーじよんのびだ。青轡荘の御厚志で夕食は五時半からたっぷり三時間半それでも食事を食べる事を忘れて飲み食へ歌うしまつ。

## 風雪の中を73年 魚沼線物語

覚えておられますか。あの魚沼線を。会員の皆様には懐かしい思い出も多いかと思えます。今回は魚沼線について書いてみます。魚沼線は明治44年9月に県二番目の私鉄として開通した。上越線は未だ開通していません。さしく魚沼地方への玄関として、活気的な輸送力により純益は全国の私鉄中で第二位を占めたと言われる。この時の主役の機関車はドイツ製の軽便機関車である。魚沼線行進曲：小千谷を後にガタコンと一銭ビツビツ吹き鳴らしマッチ箱三個 薪焚いてその名も床しき魚沼線……省略……小千谷を凌ぐ 煙突に舞い立つ鳩の群れ有りて片貝羊かん美味ければ次は終点来迎寺 やがて、悲しい時代がやってくる。第二次世界大戦が始まると、多くの出征兵士が日の丸の旗の波で魚沼線に乗り戦場へ送られた。昭和19年には、魚沼線そのものが、線路、橋げた、枕木が応召されたのである。

戦争も終り、昭和25年、片貝、来迎寺間に貨物輸送が開始される。地元民の勤労奉仕や枕木の提供など強い熱意の中で復活した。昭和29年8月、来迎寺、西小千谷間の営業が復活し、町中の人達が歓喜に満ちた。魚沼線行進曲：春は桜の来迎寺 冬はスキーの小千谷市よ あいだを結ぶ 魚沼線 ここに再び生まれたり 昭和31年ディーゼル化となり、ローカル中のローカル電車として、故郷を走り、昭和56年「赤字廃止線」に指定されるのである。指定から廃止の昭和60年3月まで、消え行く魚沼線を惜しんでいろいろな行事が行われた。1月31日、最終列車に全国のマニユアもかけつけ乗降客二千人余り。片貝駅では「魚沼線行進曲」が響く中、火花が打ち上げられ、哀惜列車を見送った。明治44年生まれ、33才で召集され、戦後43才で復帰し、中高年で頑張るが73才で惜しまれつつ現役引退。今年に米寿である。(文と絵 小宮)



開通時の軽便機関車

仲居さんにおにぎりにして各部屋に届けて貰うほど楽しんだ。翌日は朝から雨、予定を変更して宿にお昼セットをお願いして窓外に散り行く花を見ながら、又々朝から宴が始まった。歌がなくても飲むにつれ漫才漫談入り乱れて腹をよじり涙をながしている内に昼食となり最後の一風呂の後帰途について。天候に関係なく今年も思いっきり「じよんのび」でした。今回は特に青轡荘さんに御高配を頂き心からお礼を申し上げます。担当の小野塚茂さんお世話様でした。(記 阿部)

# ふるさと・は・今

H9年12月から  
H10年5月まで

## 母校近況

### ■小学校

#### 県ジュニア美術展

第二十八回県ジュニア美術展覧会(県教委など主催)審査結果が発表され、片貝小学校三年の吉原祐太郎君が絵画部門で優秀賞を受賞した。ミニバスケット

#### 全国大会出場できず

第十九回BSN杯新潟県ミニバスケットボール大会が12月13・14日、新潟市で開催された。片貝スーパードライズは長岡地区代表として出場したが、準々決勝で破れ、全国大会への出場が夢と消えた。ベルマーク収集活動頑張る

片貝小学校では、学校、父母、児童が協力してベルマーク集めに取り組んでいる。1月29日第四回目の収集作業が行われた。マークをひとつづつ切り、メーカー毎に分類し郵送する根気のある手作業を黙々と行い、平成9年度で8万円以上が集まった。

ピカピカ一年生  
ピカピカの一年生が4月6日に入学式を迎え、小学校生活スタートさせた。今年の一年生は男子31人、女子21人、合計52人。

### ■中学校

#### バスケット・バレエ

#### 新人戦で活躍

\*バスケット部は新チームで第九回中越中学新人バスケットボール大会兼第十二回BSN県中学新人バスケットボール大会予選に優勝した。

\*バレエ部は長岡で開催された、第十二回中越地区中学校バレエボール強化練習兼第十三回県中学校バレエボール選抜優勝大会予選会で優勝した。

県選抜優勝大会では残念ながら、準々決勝で破れた。片中バレエ部 高橋選手

県代表 全国大会へ  
高橋麻美さん(四之町)は12月25日から大阪で開催された「第11回さわやか杯全国都道府県対抗バレエボール大会」に、新潟県選抜チームの一員として出場し活躍した。

決勝リーグには残れなかったが、抜群のジャンプ力と攻撃技術が高く評価されての選抜だった。  
明るい家庭づくりの作文  
黒崎さん市長賞を受賞  
平成9年度に標記作文コンクールで、黒崎亜沙子さん(屋敷)が最高賞の市長賞を受賞し、昨年の教育長賞に続き二年連続の快挙となった。

### 三年生同窓会仲間入り

#### 正調木遣も学習

三年生61名(男27名、女34名)は3月4日、同窓会入会式に望んだ。今年の卒業生の会は「五十一会(いついかい)」を引き続き、片貝芸能保存会が正調木遣を指導した。

### ■高校春のバレエ全国大会

#### 片貝3人娘出場(長商)

長岡商業高校バレエボール女子チームは、選抜大会県予選で優勝し、全国大会へ出場した。メンバーには、片貝中出身の三人が入っており、東京代々木体育館で活躍した。

この三人は、寺尾久美子さん(二年、一之町)山口絵理さん(二年、稲葉)黒崎美江子さん(二年、屋敷)で片貝の実力を見事に証明した。

### EGYPTIAN

#### 平成9年片貝十大ニュース

J A片貝町は町民からアンケートを募り平成9年の十大ニュースを発表した。

一位は「片貝中、千田中創立五十周年記念事業挙行」となった。以下、二位「第一回片貝丘陵ウォーク」第三位「五辺集団転作組合農林水産大臣賞受賞」、十位は「四尺大締太鼓」であった。

「塞の神」行事は1月15日昼夜にわたり浅原神社で盛大に行われた。夜の部は参道に百八灯のロウソクが並び、福餅まき、大塞の神に点火。神社裏手に無数のほんやら洞が出現。スルメや餅を焼いて、一年の健康祈願をする人達で賑わった。

松井さんを祝う会開催  
市体育協会創立50周年記念式典の席上、バスケットボールの普及に尽力した功績により感謝状を受けた松井周二さん(72才二之町)を祝う会が1月18日開催された。

クラモチ、おんまいど、小塞



松井さんを祝う会開催  
市体育協会創立50周年記念式典の席上、バスケットボールの普及に尽力した功績により感謝状を受けた松井周二さん(72才二之町)を祝う会が1月18日開催された。



ケを始め、長岡商業時代は全国最優秀選手として表彰され社会人では片貝クラブで度々全国大会へ出場、片貝での普及と指導に尽力された。

おぢや熱気球競技「風船一揆」本田善治杯を設立

「白と光の祭典 おぢや風船一揆」は小千谷の冬のイベントとして第22回を数える。本イベントの草創期に尽力された本田善治さん(故人)を偲び「本田善治杯」が設立された。2月22日の



大会で優勝した三重県のグループには副賞として、片貝まつりに花火奉納、棧敷席一枠がプレゼントされた。春雷 大暴れ

#### 浄照寺大被害

3月14日午後9時45分頃、茶畑の浄照寺境内、本堂裏のモミの木に落雷があり、寺の本堂や庫裏に大きな被害があった。

上部3分の2が吹き飛び、大小の破片が本堂の屋根や屋内庫裏の中まで飛び込み大きな被害となった。落雷

地点から約100m内の家庭にも電話やテレビなどに被害があった。



### J A片貝町

#### 友田明石新組合長誕生

片貝町農業共同組合の新しい代表組合長理事に友田明石氏(57、高見)が就任した。

友田組合長は「組合員のための農協、地域の員として貢献出来る農協を目指す」と決意を語った。また、友人等有志が幹事会(吉原芳郎代表)を組織、1月11日夜約70名を集め「開む会」が盛大に開催された。(片貝新聞)

### あとがき

連休に新潟へ帰り、10年振りに恩師に会い、昔が隣時に蘇り、若返りました。来年の40周年には、是非多勢の方に出席して頂き、若返って貰いたいと思います。田植えも後少し(小宮)